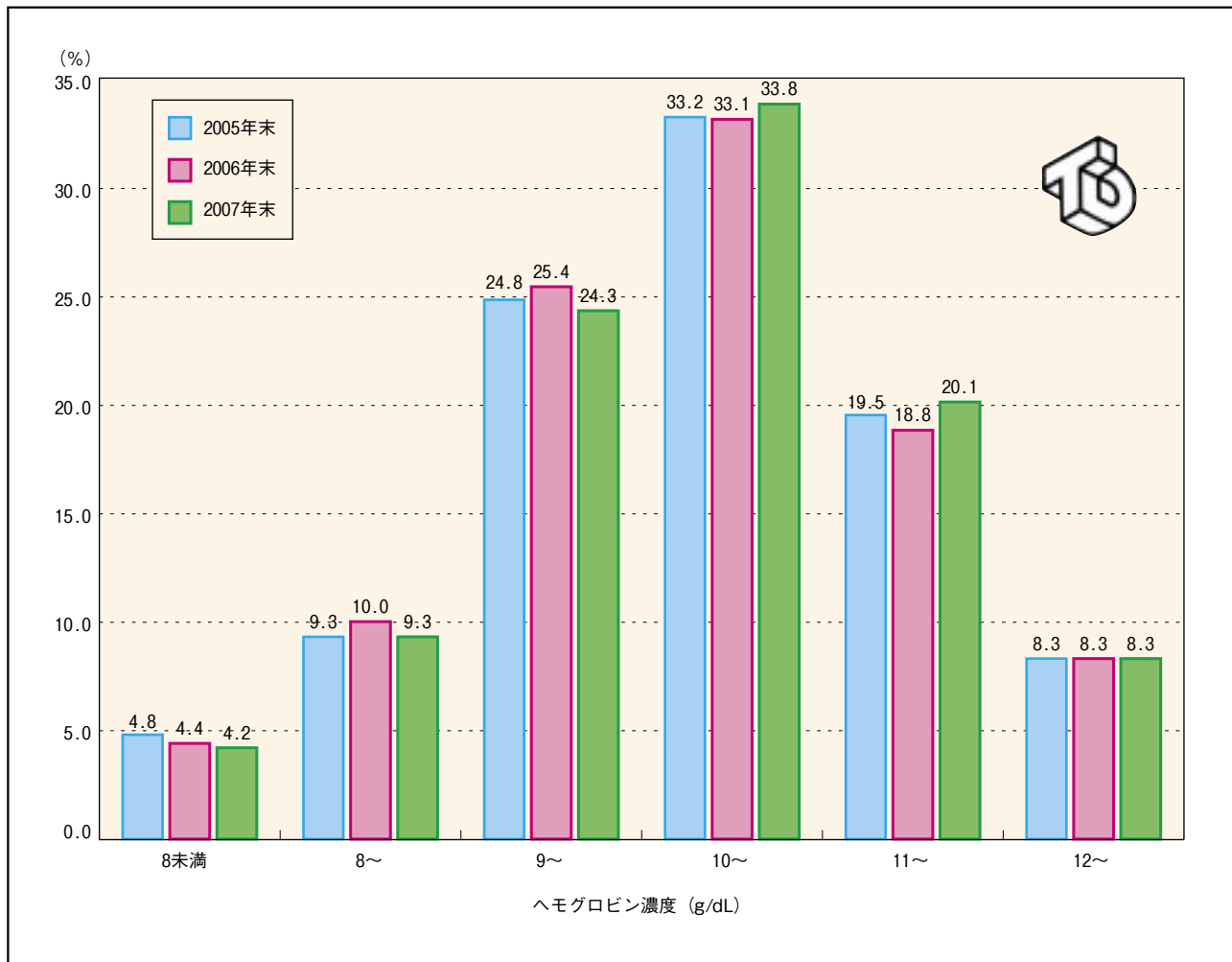


3) 腎性貧血治療の現状

(1) ヘモグロビン濃度の分布 2005年末と2006年末と2007年末 (図表30)



ヘモグロビン濃度 (g/dL)	8未満	8~	9~	10~	11~	12~	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
2005年末患者数 (%)	6,564 (4.8)	12,707 (9.3)	33,785 (24.8)	45,231 (33.2)	26,608 (19.5)	11,298 (8.3)	136,193 (100.0)	31,919	168,112	10.23	1.37
2006年末患者数 (%)	9,529 (4.4)	21,622 (10.0)	54,878 (25.4)	71,654 (33.1)	40,619 (18.8)	17,876 (8.3)	216,178 (100.0)	33,779	249,957	10.23	1.33
2007年末患者数 (%)	9,487 (4.2)	21,119 (9.3)	55,265 (24.3)	76,858 (33.8)	45,619 (20.1)	18,882 (8.3)	227,230 (100.0)	36,029	263,259	10.27	1.32

患者調査による集計

解説

ヘモグロビン濃度の分布を、2005年末・2006年末・2007年末の時点で比較して示した。2005年末の透析前ヘモグロビン濃度の平均値は 10.2 ± 1.4 g/dL (平均 \pm 標準偏差)、2006年末は 10.2 ± 1.3 g/dL、2007年末は 10.3 ± 1.3 g/dLとほとんど変化していなかった。2007年末ではヘモグロビン濃度10.0g/dL未満の患者が37.8%で、2006年末に対して2.0%、2005年末に対して1.2%減少していた。一方、2007年末ではヘモグロビン濃度10.0g/dL以上かつ12.0g/dL未満の例は53.9%で、2006年末に対して2.0%、2005年末に対して1.2%増加していた。ヘモグロビン濃度12.0g/dL以上の患者割合は、2005年末と2006年末と2007年末いずれも8.3%で変化しなかった。